

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	GL101
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	プロジェクト型学習によるリーダーシップ入門
担当者 (Instructor)	履修登録状況画面で確認すること
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)
単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP1100
使用言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	経営学部所属学生履修不可 2016年度以降1年次入学者：学びの精神科目 2012～2015年度1年次入学者：総合自由科目 定員20名

授業の 目標 Course Objectives	本講座は、クライアント企業から提示された取り組みテーマについて、少人数のチームによるグループワーク（討議や相互フィードバックなど）を行い、各自の調査分析やチームの提案を文書としてまとめ、予選・本選での成果発表を行うプロジェクト型学習を通じて、様々なリーダーシップ発揮のあり方を体感し、自分の持ち味を活かしたリーダーシップのあり方に気づくことを目指す。
授業の 内容 Course Contents	少人数のチーム（4～5名）による討議・相互フィードバック、授業外での調査分析・文書作成・発表準備、予選・本選での発表、というプロジェクト型学習を行うことで、論理思考スキル、討議（ファシリテーション）スキル、フィードバックスキル、調査分析スキル、文書作成スキル、プレゼンテーションスキルといったビジネス基本スキルを学ぶとともに、各自のリーダーシップ持論の整理、チーム活動の振り返り（中間&最終）、各自の意識や行動に対する相互フィードバック、各自の持ち味を活かしたリーダーシップ発揮の仕方の内省を行うことで、様々なリーダーシップ発揮の仕方について気づきを得る。
授業計画 Course Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入 2. グループに課される課題と予備知識の解説 3. チーム活動計画の作成（グループワーク） 4. 討議スキルの基本の理解（グループワーク） 5. 調査分析スキルの基本の理解（グループワーク） 6. 論理思考スキルの基本の理解（グループワーク） 7. 文書作成スキルの基本の理解（グループワーク） 8. 中間発表 9. フィードバックスキルの基本の理解、チーム活動の中間振り返り 10. プレゼンテーションスキルの基本の理解（1）（グループワーク）

11. プレゼンテーションスキルの基本の理解 (2) (グループワーク)
12. クラス別予選
全クラス合同本選 ※本選は予選後の土曜日午後を予定しており、出欠の対象とはしないが、出席することが望ましい
13. チーム活動の最終振り返り
14. 各自のリーダーシップのあり方の内省
クライアント企業の提示課題、グループワークの進捗状況次第で、順序や内容が変更になる可能性がある。

授業時間外
(予習・復習
等)の学習
Study
Required
Outside
of Class

・クライアント企業から提示された課題に関するプロジェクト型学習は、個人またはチームごとに授業外に行うことを想定。授業外に、概ね、週に3-5時間の個人またはチームでの学習時間を要する。

	種類(Kind)	割合(%)	基準(Criteria)
成績評価 方法・基準 Evaluation	平常点(In-class Points)	100 %	授業中の発表・討議・質疑応答(30%)、グループワークの成果(40%)、提出物(30%)
			備考(Notes)

上記比重に関わらず、欠席3回でD評価とする。

テキスト
Textbooks 適宜指示する。

No	著者名 (Author/Editor)	書籍名 (Title)	出版社 (Publisher)	出版年 (Date)	ISBN/ISSN
参考文献 Readings	1. 日向野幹也	『大学教育アントレプレナーシップ—新時代のリーダーシップの涵養』	ナカニシヤ出版	2013	978-4779507755

その他(Others)

「日経ビジネスアソシエ」MBA講座(永禮弘之執筆)の雑誌記事を、各セッションのテーマに沿って、適宜配布する。

その他
(HP等)
Others
(e.g. HP)

経営学部BL0とほぼ同内容である。泉谷道子、稲垣憲治、岩城奈津、谷口潤、鄭秀娟、辻洋右、永禮弘之の7名の教員が担当する。

注意事項
Notice